

1. 2017年度報告

◇ファカルティ改革・推進

- ・テニユアトラック制度の再整備および制度化の開始(運用開始)、Web 国際公募の導入
- ・Vision150 実現に向けた教員増/国際公募を原則とする競争力ある採用活動
 - 英語学位プログラム:EDESSA(English-based Degree Studies September Admission)
 - 担当教員(専任/常勤)の採用： 6 名(2014 年度)→12 名(2017 年度)→14 名(2018 年度)
- ・専門職大学院の強化
 - 早稲田ジャーナリズム大学院新展開、学費改定とカリキュラム全面改定
 - グローバル化に対応したジャーナリスト養成 ; J-School のグローバルネットワーク
 - 社会人対応プログラム : 現役ジャーナリストのための短期リカレントプログラム

◇入試改革・在学生支援

- ・2021 年度一般入試改革の概略を決定
 - 知識・技能だけでなく思考力・判断力・表現力等を多面的・総合的に判断する仕組みへの変換
- ・入学者数の整理に着手
 - 渡日不要入試を廃止することを決定。グローバル入試、外国学生入試等で留学生など多様な学生を確保しながら、教員対学生数の改善、少人数教育の充実に向けた取り組みを開始
- ・「政治経済学部グローバルリーダー派遣留学生奨学基金」「政治経済学部グローバルリーダー外国人受入留学生奨学資金」「政治経済学術院奨学資金(政経スカラシップ)」「ハワード・ハギヤ奨学資金」の増資・充実

◇カリキュラム改革・推進

- ・2019 年度学部カリキュラム骨子決定
 - 日英ハイブリッド化の実現(必要単位数、必修科目、科目区分、設置科目を原則統一)
 - 専門科目群の政治学と経済学への再構成(国際政治経済学科目との重複を解消)
 - 国際政治経済学科の再構成(学科を政治学と経済学の必要単位数と必修科目の違いで定義)
 - 3 学科共通必修科目の設定(政治学科も経済学と方法論を、経済学科も政治学を学ぶ)
 - 学科目の 5 カテゴリーへの再構成(政治学、経済学、分析手法・方法論、演習、グローバル科目)
 - 科目配当年次の廃止(入門科目、中級・基礎科目、上級・専門科目にレベル分け)
 - 外国語を用いて政治学と経済学を学ぶ科目(外国語地域副専攻の体系的科目)の設置
- ・政経オナースプログラム(学部 3 年+大学院 3 年で博士学位修得)
 - 大学院との連携による積極的活用
 - 学部 1 年終了時点での申請者： 2015 年度 6 名、2016 年度 2 名、2017 年度 3 名、2018 年度 2 名
 - 2017 年度第 1 期修士課程進学者 1 名、2018 年度 1 名。2018 年度第 1 期博士課程進学者 1 名
 - オナースプログラム大学院進学者に政経スカラシップを給付：
 - 2017 年度 2 名、2018 年度 2 名(修士 1 名、博士 1 名)

◇全学的プロジェクトへの参画

- ・Asian Future Leaders Scholarship Program(百賢教育基金會)の運営・実施
- ・文部科学省「大学の世界展開強化事業(日中韓キャンパスアジア)」(2016~2020)の採択・活動開始
- ・文部科学省「大学入学者選抜委託事業(高大接続委託事業)」(2016~2018)の採択・活動開始
- ・文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」実証政治経済学拠点における 30 名の招聘教員によるセミナー・授業の実施
- ・文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」グローバルアジア研究拠点の採択・活動開始

◇国際化推進

・ EDESSA の拡充→入学定員：2013 年度 50 名、2014 年度 75 名、85 名 2015 年度、2016 年度～100 名

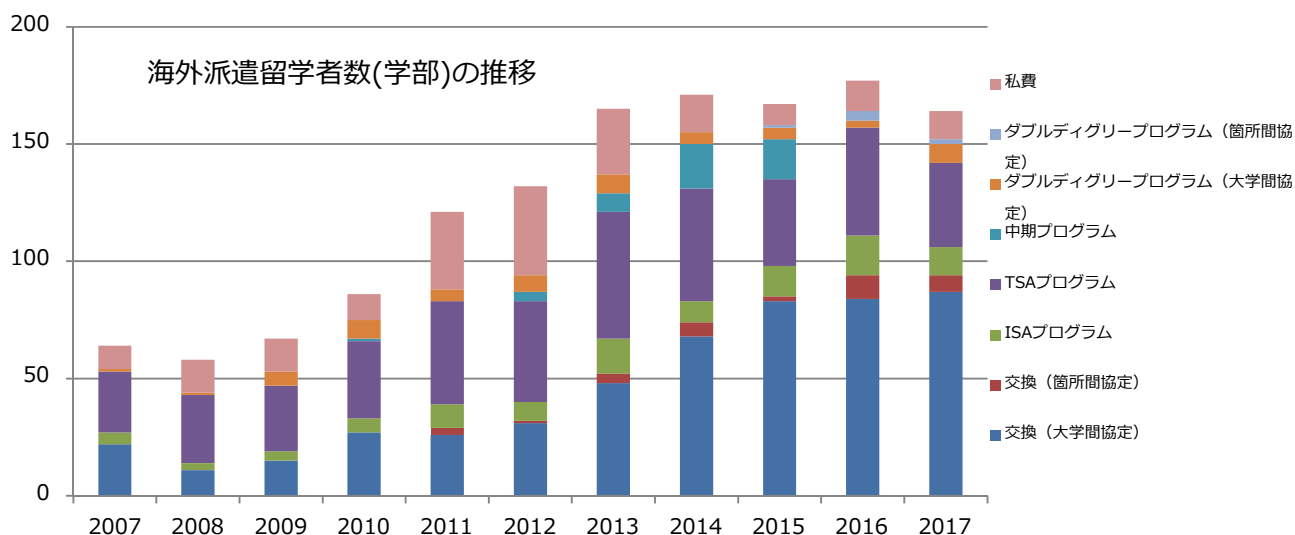
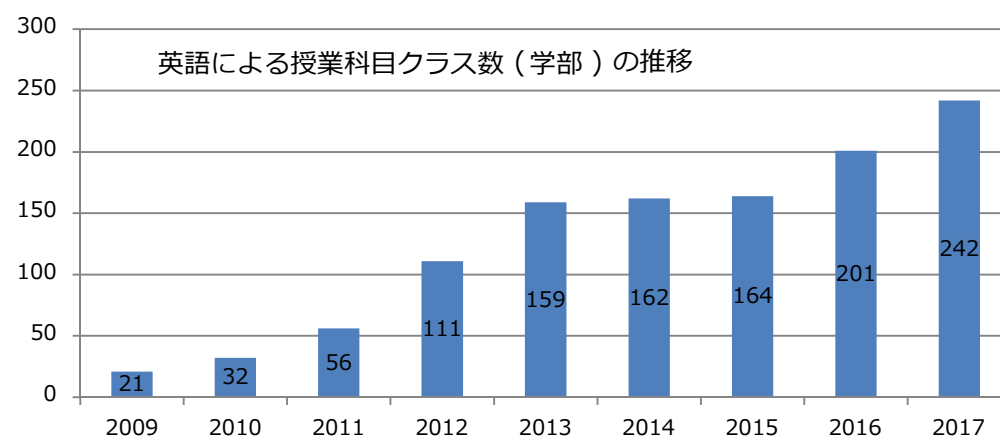
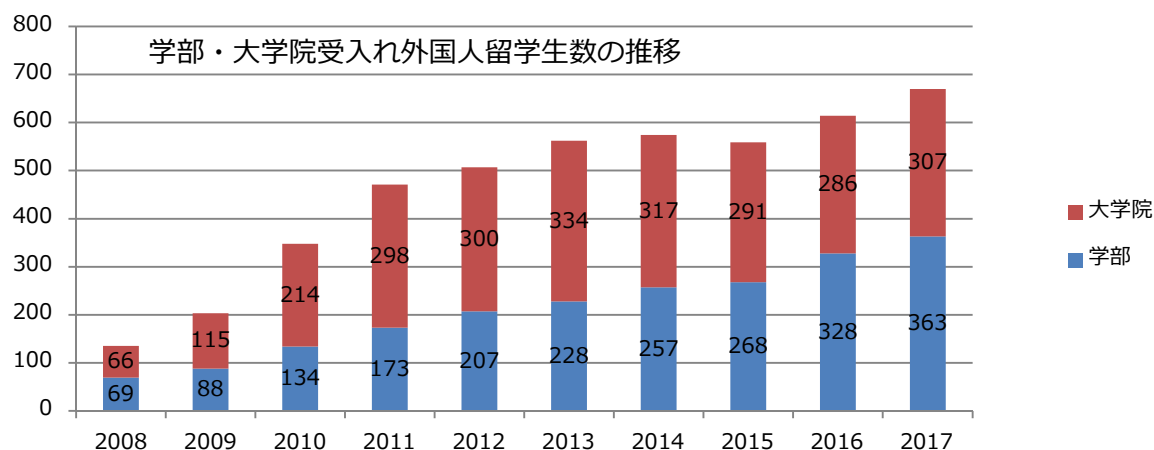
志願者数(AO 入試)：144 名(2013 年度)、152 名(2014 年度)、228 名(2015 年度)、278 名(2016 年度)、315 名(2017 年度)

・ AFLP セミナー、スタディトリップの実施

→2017 年 9 月 25 日～27 日(新潟県)13 人が参加。2018 年 3 月 21 日～23 日(長崎県)19 人が参加

・ 政治経済学術院・エセックス大学(英)サマープログラムの実施(SGU 実証政治経済学拠点)

→2017 年 9 月 6 日～9 月 20 日(90 分講義を 15 回実施) 25 人が参加



2. 2018年度計画

◇ファカルティ改革・推進

- ・テニュアトラック制度の再整備および制度化の開始(運用開始)、Web 国際公募の導入
- ・Vision150 実現に向けた教員増/国際公募を原則とする競争力ある採用活動
- ・学部国際政治経済学科・大学院国際政治経済学コース連動カリキュラム改革

◇カリキュラム改革・推進

- ・2019 年度学部カリキュラムの実施（日英ハイブリッド化の実現）
- ・政経オナーズプログラム(学部3年+大学院3年で博士学位修得)の実施

◇入試改革・在学生支援

- ・2021 年度一般入試改革を決定・実施準備開始
- ・「政治経済学部グローバルリーダー派遣留学生奨学基金」「政治経済学部グローバルリーダー外国人受入留学生奨学資金」「政治経済学術院奨学資金(政経スカラシップ)」「ハワード・ハギヤ奨学資金」の増資・充実

◇大学院改革

- ・面接入試効率化（渡日不要 Web 面接）
- ・経済学研究科9月入試改革（内容を見直し、面接を大幅に削減）
- ・2019 年度9月からの政治学研究科・公共経営専攻英語学位コース新設の準備
- ・2020 年度からの政治学研究科カリキュラム改革の準備

◇現代政治経済研究所

- ・外部資金獲得支援の拡充
- ・研究力、研究成果 PR のための情報発信を推進
- ・SGU 事業などと連携したイベントの主催、共催
- ・長期事業計画（シンクタンク機能、有料講座など）の現実的展開準備

以 上